

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-1
PDCA	主要事業名	道路維持修繕事業（維持修繕・改修）	部課名	建設部土木課	担当	加古	
					内線	434	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 211,595 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.02.02.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理道路について、適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。					
		事業目的： 市内一円道路の維持管理					
		事業内容： 市内一円道路の維持修繕・改修工事					
		問題点・課題等： 多種多様な要望等がある中、道路瑕疵に繋がる道路状況を発見し、緊急性や必要性を考慮し、迅速な対応が必要。					
	予算額	主要事業とする理由					
	211,595 千円	住民生活の基盤となる道路において、安全で快適な通行を確保するため、修繕や改修を行う必要がある。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 137,750 千円	快適で安全な道路の確保ができる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
	県費 3,850 千円	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位		
	その他 69,995 千円	道路維持改修路線数	実績値 10	5	—	路線	
			目標値 10	5	3	路線	
			実績値				
			目標値				
D 実績値	決算額	得られた成果					
	210,265 千円	通行に支障となる危険箇所及び不具合を修繕することで、道路利用者の安全を確保することができた。					
	財源内訳	成果指標					
		令和4年度	単位				
	道路維持改修路線数	実績値 3	路線				
		目標値 3	路線				
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。道路管理瑕疵は、平成21～平成30年度の発生件数が平均3.9件であったのに対し、近年は、令和2年度1件、令和3年度1件、令和4年度2件と平均を下回っているものの、発生の防止に努めていく必要がある。 計画的に実施した改修工事3路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。 また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。					
	今後の事業の方向性	改善推進 危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、道路パトロールの重点項目を見直しながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイレボ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。 また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。					
A 課題後の決方向性	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余りある	ある		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	※手段の変更		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない		—		

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用